

教科目名 歴史学特論 (Special Lecture on History)

学科名・学年 : 全専攻1年 (教育プログラム 第3学年 科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 田中美穂

授業の概要			
中世ヨーロッパ世界では、聖人は、教会や修道院だけではなく、世俗社会においても重要な存在であった。聖人が起こしたとされる奇蹟や予言は、ヨーロッパ各地に残る聖人伝に記された。聖人伝は、執筆者側の主張やプロパガンダを含み、当時の世俗社会を知るための重要な史料でもあった。本講義では、中世アイルランドを中心に、聖人と世俗社会との関わりについて考えていきたい。			
達成目標		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 中世ヨーロッパの歴史を学ぶ上で欠くことのできない、キリスト教一般に関する事柄について知識を得る。(定期試験) (2) 1970年代から大きく変わった中世アイルランド史研究の考え方や方法論について理解する。(定期試験) (3) 聖人伝というジャンルの史料上の性質について考える。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	聖書と聖人(1) 聖書と聖人(2) 中世ヨーロッパ社会(1) 中世ヨーロッパ社会(2) 教会と修道院 聖人と巡礼 キリスト教文化	キリスト教に関する基礎的な事柄が理解できる 中世ヨーロッパ社会のしくみについて理解できる 中世ヨーロッパ世界とキリスト教との関わりについて理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 中世アイルランド社会について 中世アイルランド史研究の過去と現在(1) 中世アイルランド史研究の過去と現在(2) 史料としての聖人伝(1) 史料としての聖人伝(2)	アイルランド現代史とともに変貌した中世アイルランド史研究の動向について理解できる 聖人伝の史料上の性質について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	講義中に話す内容について、各自でしっかりノートまとめをすること。		【総合達成度】
教科書	プリント配布。		
参考図書	毎回、授業で紹介する。		
関連科目	歴史学特論 (専攻科1年), 歴史学概説(5年), 世界史, 日本史		
評価方法	定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。		【総合評価】 点